

# 日み

笑顔と真心のサービス  
福岡市中央卸売市場鮮魚市場

**株式会社 福岡魚市場**

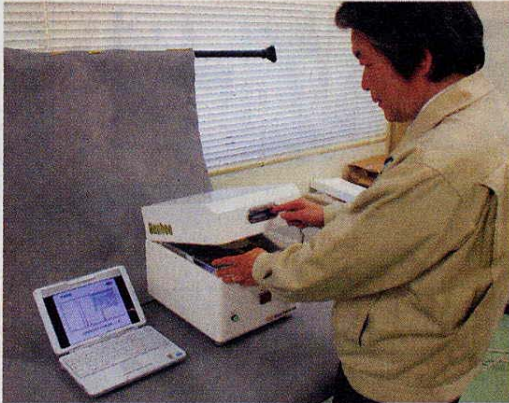
代表取締役社長 平川 貞臣

〒810-8677 福岡市中央区長浜3丁目11番3号-301  
(092)711-6002 FAX(092)731-7886  
URL: http://www.fukuuo.co.jp

この新聞はISO14001認証取得の  
本社印刷センターで印刷しています

みなと新聞は、購読者サービスとしてEメール  
による新聞掲載分の相場情報、一般ニュースや  
人事異動、慶弔などホットな情報の無料配信を  
行っています。

HP=www.minato-yamaguchi.co.jp/minato/



蛍光エックス線を利用した「有害元素検出装置・Denbee」。従来装置より安価で小型の上、操作も簡単

【仙台】センサー機器開発のミウラセンサー研究所(仙台市、三浦賀一社長、電話022-374-3207)は食品や工業製品にカドミウムやヒ素、水銀などの有害物質が含まれているかどうかを手



三浦賀一社長

軽に判定できる「有害元素検出装置・Denbee」を開発した。装置は同社が宮城県の2007年度「みやぎものづくり大賞」でクラブリを受賞した検出装置をより低価格、小型化に改良した。来月4~5日の第6回「ジャパン・インターナショナル・インフォードショー」大阪に出展初披露する。装置は、蛍光エックス線を試料に照射すること

で各元素が発する特有のスペクトル(波長)の強度を分析。カドミウムや水銀、ヒ素、鉛といった有害元素を検出、定量測定も可能だ。測定時間は10~30秒程度。機器操作は簡単で、検査員に特殊な資格はいらない。蛍光エックス線を活用した同様の検出装置は業界では既に存在するが、装置自体が非常に大きい上、価格も2500万円~5000万円と高額。今回、同社が開発した装置は、カメラの駆動系を取り除くなどさらに低コスト、小型化を実現。価格は「みやぎものづくり大賞」のクラブリを受賞した従来装置(約180万円)の3分の1程度にまで引き下げ、100

【北米支局】米アラバマ州、チゲニック2757スル、8月の計1万2092F&G)は26日、コジャ・7トだ。

3水域とも漁法はカゴ(Pot)と釣(Jig)と、コジャックでは棒を、漁法で折半、アラスカ州南部は棒の85%をか、残り15%を釣に配分する。また、チゲニックは10%、カゴに90%の給源の注目を

1月28日 水曜日  
2009年 (平成21年)

発行所  
みなと山口合同新聞社  
〒750-8506 下関市東大和町1丁目1-7  
☎083(266)3214 土曜・日曜・祝日休刊

カ半島南部5093・2

## 有害物質を手軽に測定 ミウラセンサー研究所が開発 安価で小型、操作も簡単

安全性の期待  
食の安全確認へ

0万円を大幅に下回る価格でユーザーに提供する考えだ。3月から本格販売する。

三浦社長は「有害物質を含まない安全な食品や工業製品の普及につなげるには、管理検査体制の

構築・強化が不可欠。そのためには特定の検査機関のみならず、漁協や農協、メーカー、流通業者、小売業者など幅広い関係者間の利活用が求められる」と指摘する。

博多の味をお試し下さい!

極洋の福井清計社長は27日の新商品発表会で、好調だった上期から一転、厳しい事業展開となっている下期の概況を説明。

福井清計社長

「引き続き挑戦者の気持ちで臨む」と語った。

福井社長は、昨年秋の米国発の金融危機以降の経済状態について「公的資金投入などいずれも効果は薄い、状況は悪化している」と分析。水産食品業界についても「年末半期業績については「売

「9月の第7わかば丸の

者の気持ちで臨んでいきたい」と語った。

業績動向を補足した石川専務は単体の第3四半期業績を「前年比若干の増収」とする一方、「収益は減益も上期が好調だったことから第3四半期末では前期に比べよくなる」としている。

### 07、08年の主要養殖魚の動向 (東京中央卸売市場)

(単位=数量:ト、金額:百万円、平均価格:円/ト)

品目		08年合計	前年比	07年合計
ハマチ	数量	8,469	85.0%	9,964
	金額	6,917	95.6%	7,232
	平均価格	817	112.5%	726
カンパチ	数量	3,510	96.6%	3,634
	金額	3,884	102.4%	3,793
	平均価格	1,107	106.0%	1,044
マダイ	数量	7,132	122.6%	5,819
	金額	5,061	92.8%	5,455
	平均価格	710	75.8%	937

000円を越えた。高値に突入した。秋口から天然物入荷が潤沢だったこともあり、末端の吸い込みは良くなかった(同)。

需要期の11月以降も「高値のイメージがぬぐい切れず、敬遠された